

「第19回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水2015久米島大会」報告

研究企画発表委員会

委員長 清水 勝公

「海洋深層水2015久米島大会」が、本年11月12日、13日の両日、沖縄県久米島町「具志川農村環境改善センター」におきまして、開催されましたことを報告します。

大会の概要は以下の通りです。

【主催】 海洋深層水利用学会

【後援】 文部科学省・水産庁・沖縄県・久米島町

【共催】 久米島海洋深層水協議会

【研究発表企画委員会】

委員長 清水勝公（清水建設株式会社）

委員 白石 學（一般社団法人マリノフォーラム21）

後藤裕康（静岡県水産技術研究所）

大貫麻子（一般社団法人海洋産業研究会）

実行委員会（開催場所対応委員会）

委員長 鹿熊信一郎（沖縄県海洋深層水研究所）

委員 大道 敦（株式会社ポイントピュール）

安里一月（久米島海洋深層水開発株式会社）

藺田眞理（有限会社真栄堂）

宮里真次（久米島漁業協同組合）

松本源太（沖縄県車海老漁業協同組合）

新垣 一（株式会社オーランド）

鷺足恭子（株式会社ヒューマンウェブ）

兼島盛吉（沖縄県海洋深層水研究所）

幸地伸也（久米島町プロジェクト推進室）



エントランス（関連商品展示）



高橋会長挨拶

【開催状況】

開会挨拶

高橋正征（海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）

鹿熊信一郎（実行委員長・沖縄県海洋深層水研究所所長）

島田 勉（来賓祝辞・沖縄県農林水産部部長）

大田治雄（久米島町町長）

研究発表

海洋・水質／生物・水産／農業・畜産関連：10題（座長：山下和則・(株)エコニクス）

健康・医療関連：9題（座長：兼島盛吉・沖縄県海洋深層水研究所）

利活用システム関連他：9題（座長：井関和夫・広島大学名誉教授）

ポスター発表：2題

特別シンポジウム：次世代の海洋深層水大規模利用への挑戦ー久米島モデルー

中村幸雄（久米島町プロジェクト推進室）

岡村 盡（㈱ゼネシス）

鹿熊信一郎（沖縄県海洋深層水研究所）

兼島盛吉（沖縄県海洋深層水研究所）

高橋正征（海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）

牧野芳郎（古河電気工業㈱）

【見学会】 沖縄県海洋深層水研究所、久米島海洋深層水開発
㈱及び㈱ポイントピュール視察

【参加状況】 参加者：会員 76 名 一般 36 名 学生 1 名
総員 113 名（スタッフ約 20 名除く）
（韓国、台湾の海外からも約 20 名の参加を頂きました）

【関連開催事項】

- (1) 第 3 回学会賞授与式：1 団体、1 名が受賞
（詳細は当会ホームページ参照）
- (2) 全国利用者懇談会：「久米島モデルに見る海洋深層水の輝く未来」（主催：久米島海洋深層水協議会 共催：当会利用促進委員会）



全体討論



見学会（沖縄県深層水研究所）

本大会はここ数年と対比して、参加申込み者数が 130 名を超え（ただし、当日のフライトスケジュールが合わないための欠席の方が 20 名程度おりました）、また、研究発表者数が口頭発表 28 題、ポスター発表 2 題と、非常に多数の参加者と研究発表数で行われた大会でした。

特に、「次世代の海洋深層水大規模利用への挑戦－久米島モデル－」と銘うって持たれた特別シンポジウムはこれまでに久米島町が進めてきた“海洋深層水利用に関する将来計画”について、全体構想、研究センター部会・エネルギー部会、水産部会、農業部会、環境部会の各部会の検討報告に加え、昨年度学会賞受賞企業である古河電気工業㈱より「大口径取水管の製作」に関する研究報告もあり、将来の海洋深層水利用プロジェクトに対する推進と利活用方法に関して大変に参考となる興味深い意見交流の場となりました。

なお、一般講演に関しては 1 題の持ち時間を昨年度と同様に「15 分／題」での発表を確保することができました。

大会開催に当りましては沖縄県海洋深層水研究所の皆様、久米島町の皆様また久米島海洋深層水協議会の皆様には多大なご協力を得て準備・運営することができましたことを、本紙面を通じましてお礼を申し上げる次第です。

最後に、会員の皆様方には、日頃、本学会活動にご理解とご協力を賜りまして、当大会の開催責任者として感謝申し上げます。次年度は本大会開始以来 3 回目となります「富山県（滑川市）」殿での開催となりますが、スケジュール調整の上、多数の御参集を頂きますようお願い申し上げます。